

## マルチファンクショナル スパイロメータ HI-801

### 【禁忌禁止】

#### ＜使用方法＞

- ・可燃性麻酔ガス及び高濃度酸素雰囲気内では絶対に使用しないこと。(爆発又は火災を起こすため)

### 【形状・構造及び原理等】

#### [構成]

- ・本体
- ・フローセンサ
- ・鼻腔通気度測定ユニット(オプション)
- ・呼吸筋力測定ユニット(オプション)
- ・SpO<sub>2</sub>(オプション)
- ・NEP測定ユニット(オプション)
- ・付属品一式

#### [機器の分類]

電撃に対する保護の形式による分類:

クラスII機器(本体)

クラスI機器(NEP測定ユニット)

電撃に対する保護の程度による装着部の分類:

B形装着部/BF形装着部(SpO<sub>2</sub>使用時)

#### [電氣的定格]

定格電源電圧: AC100V

定格電源周波数: 50/60Hz

電源入力: 70VA (本体)

70VA (NEP測定ユニット)

#### [形状]



寸法: 約 350(W)×290(D)×315(H)mm

※画面を開いた状態

質量: 約 4.5kg

#### [動作原理]

本器のフローセンサは差圧式であり、被検者の呼吸で発生する気流を本体の電気圧力計で測定する。ここで得られたフローを積分処理してボリュームに変換する。このデータから、測定項目を計算し、表示・印刷する。

### 【使用目的又は効果】

本器は、呼吸・吸気のフローをセンサで検出して、肺気量分画、フローボリュームカーブ(強制呼出曲線を含む)及び最大換気量を測定解析する電子スパイロメータである。

### 【使用方法等】

- 1) 電源コネクタにより、電源及びアースを接続する。
- 2) フローセンサをセンサケーブルにより、装置本体の左側面にあるセンサコネクタに接続する。
- 3) 電源スイッチをONにする。
- 4) 操作パネルにより、被検者のパラメータ(測定年月日、患者番号、年齢、性別、身長など)を入力する。
- 5) フローセンサの通気管にスパイロフィルタ、紙マウスピースを取り付ける。
- 6) 被検者に測定方法をよく説明する。
- 7) 操作パネルの《START》キーを押し、被検者に検査項目に応じた呼吸をさせる。
- 8) 操作パネルの《STOP》キーを押し、測定を終了する。
- 9) 操作パネルの《PRINT》キーを押し、データをプリントアウトする。

### \*【使用上の注意】

- ・当社指定の消耗品を使用すること。
- ・被検者に異常が発見された場合は、測定を中止すること。
- ・しばらく使用しなかった後、再使用するときは、使用前に必ず機器が正常かつ安全に作動することを確認すること。
- ・機器本体に被検者が直接触れないようにすること。
- ・スパイロフィルタ及び紙マウスピースは、被検者毎に新しいものに交換すること。(感染防止のため)

### 【保守・点検に係る事項】

#### [使用者による保守点検事項]

1. 清掃、消毒について
  - ・本体外装、センサグリップの清掃(使用日毎)
  - ・フローセンサの洗浄(適宜)
2. 交換
  - ・フローセンサ(適宜)
3. 較正
  - ・始業時
  - ・フローセンサの洗浄後
  - ・フローセンサの交換時

#### [業者による保守点検事項]

1. 各機能確認
2. 精度確認
3. 安全確認

### 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者: チェスト株式会社

TEL: 03-3813-7200